

別記様式（第 7 条関係）

会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町立図書館協議会
- 2 会議日時 令和 6 年 3 月 15 日(金) 16 時 00 分から
16 時 55 分まで
- 3 開催場所 富士川地方合同庁舎 2 階共用会議室
- 4 出席者数
 - (1) 委員 8 名
 - (2) 事務局 4 名
 - (3) 傍聴者 0 名
- 5 欠席者数
 - (1) 委員 2 名
- 6 議題
 - ① 令和 5 年度図書館運営について
 - ② 令和 5 年度図書館事業実績について
 - ③ 令和 6 年度図書館事業計画（案）について
 - ④ 令和 6 年度図書館費予算（案）について
 - ⑤ その他
- 7 協議会内容
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 議題
 - ① 令和 5 年度図書館運営について
 - ② 令和 5 年度図書館事業実績について
 - ③ 令和 6 年度図書館事業計画（案）について
 - ④ 令和 6 年度図書館費予算（案）について
 - ⑤ その他

(4) その他

(5) 閉会

8 発言の内容

① 令和5年度図書館運営について

事務局 資料を用いて説明

議長 質問・意見はあるか

委員 9 か月経ち、利用状況に関して予想に反して多かった少なかったなど、どのような感じか。

事務局 秋ごろ利用者数が少なくなりどうしたものかと思ったが、年明けに利用登録も含め利用が増えた。確定申告やハローワークの説明会なども関係しているかもしれないが、そのようなことをきっかけに図書館に足を運んでくださる方が増えていけばと思う。年間通して初年度は予想通りである。

県公共図書館の統計があり、令和2年度県の貸出平均は3.7冊。当館は8か月の数値を年間に換算すると4.5冊。県平均は上回っているが人口レベルで全国の上位10図書館の平均目標値からすると、少ない状況である。

② 令和5年度図書館事業実績について

事務局 資料を用いて説明

議長 質問・意見はあるか

委員 ブックスタート事業について、どのような方法で周知しているのか。ご存じない方がいて反映されていない数字があるのか。

事務局 この事業は子育て支援課からの乳幼児健診の通知に記載されている。対象者はその健診のうち7～8か月児であり、健診時に対象者に声かけをしている。

委員 赤ちゃんから絵本を親しむこと、図書館との繋ぎになっていいと思う。健診時に体調不良で欠席という方について何かサポートはあるか。

事務局 当月の健診を欠席された場合は翌月の健診を受けていただくなど、連絡を受けた子育て支援課で対応している。
欠席されたお子さんにも後日絵本をプレゼントしている。

委員 イベントもいくつか実施しているが、周辺の図書館と比べイベントは多いか、妥当か。

事務局 今年度に関しては開館直後であり、日々の図書館運営に重点を置いた。その中で落ち着いてきたころからまずは毎月のおはなし会から始めた。今後も新たな事業を含めイベントを計画していく。

委員 その場合、司書を含めた職員は人数的に大丈夫なのか。

事務局 図書館開館しながらのイベント開催は土日になるためパート職員含め連携を図りながら行っていく。
今後この会議室はイベント会場としても使用できる場所のため、このスペースでできることを検討していく。

③ 令和6年度図書館事業計画（案）

④ 令和6年度図書館予算（案）について

事務局 資料を用いて説明

議長 質問・意見はあるか

委員 図書館ボランティアの育成も計画の中でどのような考えがあるか。

事務局 図書館ボランティアの育成も計画しており、予算には保険料も計上している。ボランティア育成だけでなく、職員のスキルアップのために講師の方に来ていただきながら皆で学んでいく計画も検討している。

委員 予算表示がざっくりしているが、図書の購入費は10万冊を目指して計画的に購入できるよう確保できそうか。

事務局 計画どおり予算計上している。

委員 図書館は合同庁舎の1階にあるため、維持負担金が大きくなってくる。予算にはそれらも含まれている。ハード的な負担部分と、図書館の実活動的な予算や決算がどのくらいあったということの把握。その部分が他の近隣図書館と比較して、把握ができるとよい。

事務局 次回の資料から表示方法を検討する。

委員 学校図書館と違い、公共図書館はある程度のものを揃えておかなければ住民の要望に応えられない。住民からの購入希望などどの程度まで聞いているのかと、実質的な図書の購入額を知りたい。

事務局 図書の購入については、学校図書館は教育的な配慮が必要であるが、公共図書館はひろく満遍なくと言われている。逆にいうとこの本を受け入れない理由を言うのが難しい。広く満遍なく利用者の要求を毎日のカウンターで感じながら、あるいは書架を見ながら選書をしている。限られた予算であるため、参考図書と呼ばれる辞典類は計画的に購入しなければならない、郷土資料も配分しながら購入している。利用者からのリクエストは7月から2月の段階で、当館にない本は相互貸借で対応し、必要だと思うものは購入している。件数的には61点のリクエストとして受け付け、購入をした。購入額は令和5年度予算額は1,000万円。今現在も本を購入しているため決算額は後ほどとなるが、予算に近い支出となっている。本だけでなく視聴覚資料も購入しているためそれらを含めたものになる。

委員 購入額だが、1,000万円が多いか少ないか、前にも町に伝えたが、せめて3年間は購入額を減らさないように。他自治体の図書館で初年度は予算が多くつくが、2年目3年目になると減ってしまった。3年目になったら初年度より1/3になったということがいくつかあるので、そうならないようお願いしたい。
これはできるか不明だが、富山市の図書館で市内の有力企業から協力してもらい毎月企業と関連する雑誌を提供している事例がある。富士川町内にも企業はあり、首都圏富士川会にはかなりの企業がある。新しい図書館にそういう協力を求めていくという工夫をしたらどうか。

事務局 予算については、予算査定時に図書費が多いのではと言われた。しかし必要な投資でありこの金額も本当はもっとつけてほしいと訴えたところ

ろ、昨年度と同様に通していただけた。今後も折衝は行っていく。企業からのスポンサー制度については研究していく。

委員 新しく「ペンぎんおはなし会」が始まるが、ボランティアが行うのか。

事務局 「かるがもおはなし会」同様、職員が行う。

⑤ その他について

議長 質問・意見はあるか

委員 返却ボックスだが、読み聞かせのグループで大型絵本を返却する際、返却ボックスに入らないため、もう一度出直すという話を聞く。可能であれば町であと一か所検討していただけないか。

事務局 研究させてほしい。

委員 蔵書点検で不明本はあったか。

事務局 5万冊以上ある本の中で不明本は5冊満たなかった。

議事終了

閉会